

平成16年度事業報告について
(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

概要

尾瀬の優れた自然環境の保全とその適正な利用を図るため、尾瀬の利用者等を対象に、利用マナーの啓発、自然への理解を深めるための解説活動等を実施するとともに、荒廃湿原等の植生復元、ビジターセンター等利用施設の維持管理、国立公園利用適正化及びツキノワグマ対策に係る事業を受託実施した。

また、尾瀬に関わる機関・団体が一堂に会して尾瀬について意見交換を行う機会として尾瀬サミット2004を開催したほか、尾瀬を含む湿原保護に関する学術研究を奨励するため、尾瀬賞を授与した。

実施事業

1 利用者指導事業

(1) 入山者指導事業

入山口における案内・啓発

尾瀬の環境美化や利用者のマナー向上を図るため、入山口(鳩待峠口・沼山峠口・大清水口)において、尾瀬ボランティアの協力を得て入山者への案内・啓発を実施するとともに、関係機関・団体と連携してごみ持ち帰り運動を実施した。

また、入山者の事故を未然に防止するため、軽装者に対し鳩待峠口で軽登山靴を貸し出した。

尾瀬ガイドの実施

利用者のマナー向上や利用の分散化を図るため、環境省等関係機関・団体と連携して、旅行会社や出版社等を対象としたガイドンスを開催し、尾瀬の現状と適切な利用方法を説明するとともに、協力を呼びかけた。

- ・東京地区 12月13日 都道府県会館 52社72名参加
- ・大阪地区 12月16日 大阪駅前第3ビル会議室 24社37名参加
- ・福岡地区 12月17日 アクロス福岡会議室 16社29名参加

尾瀬ボランティアの活動支援

尾瀬ボランティア(平成16年4月1日現在登録者数:352名)による入山口啓発、美化清掃活動及び植生保護作業等をコーディネートした。

また、お話しボランティアなどインタープリテーション活動の充実と資質の向上を図るため、現地研修を含めたボランティア講座を開催した。

ア 入山口啓発活動

利用マナーや現地状況の説明、靴底の種子落とし指導、軽装者への注意喚起 等

実施時期	5/22 ~ 6/27	7/3 ~ 8/8	9/18 ~ 10/10	計
鳩待峠	91人	72人	41人	204人
沼山峠	23人	33人	13人	69人
大清水	9人	10人	2人	21人
合計	123人	115人	56人	294人

イ 至仏山東面登山道周辺植生保護

- ・踏み込み防止柵設置 6月26日
- ・同 撤去 10月12日

ウ お話しボランティア(スポット解説活動)

実施時期	5/28 ~ 6/25	7/12 ~ 8/27	9/17 ~ 10/8	計 (19日間)
	6日間	9日間	4日間	
尾瀬ヶ原地区	7人	17人	12人	36人
尾瀬沼地区	9人	20人	10人	39人
合計	16人	37人	22人	75人

エ 横田代地区荒廃地植生復元作業

9月28日

オ 2004ありがとう尾瀬清掃活動

9月26日 10月11日

カ ボランティア研修

- ・インタープリテーション講座 6月29日~30日
- ・現地研修 9月3日~5日

キ その他

尾瀬での自主ボランティア活動、事務局での事務ボランティア、ツアーパンフ収集、身近な地域でのボランティア活動など

尾瀬自然解説ガイド事業

ア 尾瀬ガイドネットワーク事業

尾瀬をフィールドとするガイド事業者をネットワーク化し、相互協力、ガイド利用の促進、一定レベルの知識や技術を有するガイド育成を図るため、尾瀬ガイドネットワークを発足させて、意見交換を行ったほか、ホームページにガイド事業者の紹介ページを設けた。

- ・ネットワーク発足 5月 1日
- ・参加事業者数 13事業者

イ 尾瀬自然解説ガイド事業

尾瀬ボランティアの一部を対象に座学・現地研修を行って尾瀬自然解説ガイドとして養成し、尾瀬ヶ原地区及び尾瀬沼地区において自然解説ガイド事業(有料)を実施した。

- ・ガイド登録者数 23名(尾瀬ヶ原地区14名、尾瀬沼地区9名)
- ・活動実績 27回(162人をガイド)

(2) 自然解説事業

自然解説活動の実施

尾瀬山の鼻及び尾瀬沼両ビジターセンターにおいて、自然観察会やスライドショーなどを実施した。

ア 尾瀬山の鼻ビジターセンター

・自然観察会	実施回数	88回	参加者	872人
・スライドショー	実施回数	59回	参加者	1,537人
・ハイビジョン上映	実施回数	95回	参加者	1,038人
・団体レクチャー	実施回数	33回	参加者	884人

イ 尾瀬沼ビジターセンター

・自然観察会	実施回数	161回	参加者	1,227人
・スライドショー	実施回数	98回	参加者	2,814人
・マルチスライド上映	実施回数	160回	参加者	10,903人

ネイチャースクールの開催

自然の中で、自然と人との関わりを考える場として、一般を対象にしたネイチャースクール（第7回）を開催した。

- ・テーマ ネイチャースクール2004in 檜枝岐・尾瀬
～山人の暮らしと尾瀬の自然体験～
- ・時期 8月21日（土）～23日（月）
- ・参加者 9人

(3) 指導者養成事業

指導者の養成

自然解説活動の充実と職員の資質向上を図るため、自然解説指導者研修や環境教育ミーティング（東北・関東）等に職員を派遣した。

新規職員等導入研修

職員の資質向上と円滑な業務運営を図るため、新規職員等を対象に、国立公園制度や尾瀬の概況、インタープリテーション技法、接客マナー等の研修を実施した。

利用者指導資料の収集

入山者指導や自然解説活動に必要な資料の収集を行った。

(4) 啓発PR事業

第6回「尾瀬フォーラム」の開催

尾瀬の自然や財団活動への一般の理解を深めるために開催した。

- ・開催日 1月8日（日）
- ・開催場所 群馬・高崎シティギャラリー・コアホール
- ・内容 ミニレクチャー「今シーズンの尾瀬」
尾瀬沼ビジターセンター 管理員 水野梓
対談「尾瀬の自然保護に関わり半世紀が過ぎ去って」
山の鼻ビジターセンター 尾瀬保護指導員 星野睦治
同 管理員 佐藤舞子

- ・参加人員 180名

第9回NHK「わたしの尾瀬」フォトコンテスト及び写真展の開催

福島、前橋、新潟の各NHK放送局と共催し、尾瀬の「自然」・「動植物」・「人物」・「保護」をテーマとしたフォトコンテストを実施するとともに、入選作品や財団パネルの展示、スライドレクチャーを内容とした写真展を各地で開催し、尾瀬の自然保護について普及啓発した。

- ・コンテスト 応募作品数 665点 入選数 50点
- ・写真展 1月 7日～1月12日 群馬・高崎シティギャラリー第1展示室
1月19日～1月25日 群馬・群馬県庁展望ホール
2月 2日～2月 8日 福島・うすい百貨店多目的ホール
3月 4日～3月14日 新潟・柏崎ソフィアセンター

入場者数：15,643人

啓発パンフレットの配布

尾瀬の案内、利用マナー、自然解説等の啓発資料として、セルフガイドを配布したほか、尾瀬地域交通対策パンフレット（69,000部）を作成して、関係機関や一般に配布した。

各種イベント参画による尾瀬保護と適正利用に係る啓発

尾瀬の保護と適正利用について一般の理解を深めるため、関係機関が開催する各種イベント等の会場内に「尾瀬コーナー」を設け、尾瀬における利用マナーの向上と平日利用、入山口分散化等の呼びかけを行った。

- | | | |
|-------------------|-----------|------|
| ・上越市緑の百年物語フェスティバル | 4月29日～30日 | 上越市内 |
| ・ぐんま環境フェスティバル | 10月10日 | 群馬県庁 |
| ・ねんりんピックぐんま開会式 | 10月16日 | 前橋市内 |

2 環境保全事業

(1) 植生復元事業

環境省、福島県及び群馬県からの委託により、入山者の踏み込み等により植生が荒廃又は裸地化した湿原の植生を復元・保護する作業を実施した。

また、既存の航空写真を用いて、植生の変化傾向、これまでに行われた植生復元事業の効果を検証した。

- ・尾瀬沼地区及び尾瀬ヶ原地区の保護柵設置等
- ・至仏山東面登山道沿いの踏み込み防止柵設置等
- ・横田代植生復元作業

(2) 至仏山保全緊急対策会議

登山道周辺の植生の荒廃が深刻な状況となっている至仏山について、関係機関と有識者による至仏山保全緊急対策会議を開催して、植生保護と利用の適正化に向けた対策の検討を行った。

3 施設管理事業

(1) 施設維持管理事業

ビジターセンターの管理運営等

ア 環境省尾瀬沼ビジターセンターの管理運営

開館期間 5月15日～10月28日 167日間

イ 群馬県尾瀬山の鼻ビジターセンター管理運営等

開館期間 5月15日～10月28日 167日間

公衆トイレの維持管理

ア 尾瀬沼地区公衆便所（環境省設置）清掃等

イ 群馬県尾瀬地区公衆トイレ（群馬県設置）維持管理（山ノ鼻、竜宮）

環境省所管施設維持管理（尾瀬沼地区、見晴地区）

(2) 利用者対策事業

尾瀬沼及び尾瀬山の鼻の両ビジターセンター内に危険箇所などの掲示を行った。

4 調査研究事業

国立公園利用適正化推進事業（環境省委託事業）

尾瀬の貴重で繊細な自然環境を将来にわたり保全していくために平成11度に構築した国立

公園利用適正化システムについて、運用しつつ、その改善・充実を図るとともに、ゴミの適正処理手法や野生動物との共存方策について検討を行った。

利用適正化推進事業

指導演マニュアルや啓発リーフレットを活用して、尾瀬の入山口等において啓発活動を実施するとともに、山小屋や登山用品店等に対し、FAXやメールによる情報提供システムにより現地自然情報や傷病事故情報を配信した。

また、コースタイム等の地図情報や木道、標識類について統一化を図るため、現状の調査を行い、データベース化を図った。

利用分散化推進事業

ア 望ましい地区収容力の検討

自然環境保全や利用適正化のための対策を検討・実施するうえで基礎となる望ましい地区の収容力について、利用者数（利用密度）と利用快適性との関係から検討した。

イ 特定日・地区への利用集中回避対策の検証・改善

利用の分散化について、旅行会社に対し働きかけるとともに、モデルツアーを開催して、望ましいツアーの在り方を提示した。

また、非混雑日（期）へ利用者誘導手法の開発の一環として、ハイシーズンでない平日に写真撮影講習会を開催した。

さらに、利用者を集中ルートから分散させるため、ビジターセンターのスライドショー等で入山者に対し、非集中ルート利用のメリットを提示した。

自然改変状況モニタリング調査事業

山ノ鼻地区において、風向・風速、気温、降水量、湿度、日射量等の気象調査を継続実施した。

ごみ処理対策検討調査事業

尾瀬地域内各施設の浄化槽から発生する汚泥量を抑制するため、浄化槽管理者研修会を開催するとともに、不織布を用いた簡易脱水装置の試作と現地検証を行った。

野生生物安全管理方策検討調査事業

クマと共存しながら利用者の安全を確保するため、クマに関して注意を喚起するリーフレットを配布するとともに、目撃情報を収集して関係機関等に情報提供を行った。

また、山ノ鼻地区に居座り続けたクマについて、利用者の安全を確保するため、関係機関と連携して捕獲し、奥山に放獣した。

5 顕彰事業

湿原を対象とした学術研究の進展を図ることを目的として、若手による研究を奨励するため、第8回尾瀬賞の募集と選考を行った。

尾瀬賞選考委員会

- ・ 1月27日（土） 第8回尾瀬賞選考方法について
- ・ 2月 5日（土） 第8回尾瀬賞受賞候補者の選考について

尾瀬賞運営委員会

- ・ 2月20日（日） 第8回受賞者候補者の決定及び第9回尾瀬賞の募集について
受賞者

大学共同利用機関法人人間文化研究機構

総合地球環境学研究所 研究部助教授 市川昌広 氏

受賞研究テーマ 「マレーシア・サラワク州の湿地林における生物資源とイバ

ン人によるその利用」

6 友の会事業

各種イベントや財団ホームページを通じて会員募集を行うとともに、関係機関や団体にも加入を呼びかけ加入促進を図った。

加入した会員に対しては、定期に会報を発行し、尾瀬に関する各種情報の提供を行った。

- ・平成14年度 賛助会員17社 個人会員1,475人
- ・平成15年度 賛助会員20社 個人会員1,617人
- ・平成16年度 賛助会員19社 個人会員1,615人

7 野生動物対策事業

尾瀬山ノ鼻地区において、クマの危害から公園利用者等の安全を確保するため、環境省からの委託によりツキノワグマ対策マニュアルを策定することとし、専門家からの意見聴取や国内の対策事例の収集等を行いながら、その検討を行った。

8 財団の運営

財団の適正かつ円滑な運営を図るため、理事会及び評議員会のほか、尾瀬サミット、企画運営委員会等を開催し、尾瀬及び財団に関する諸課題について意見交換等を行った。

(1) 理事会、評議員会の開催

理事会

ア 第19回理事会

- ・日時 6月16日(水)午後1時30分～午後2時40分
- ・会場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議事(議案)
 - 1 平成15年度事業報告について
 - 2 平成15年度決算について
 - 3 基本財産への繰り入れ及び運用について
 - 4 常務理事の選任について
 - 5 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
 - 6 尾瀬賞運営委員会委員の辞任に伴う後任委員の選任について
 - 7 特別表彰について

イ 第20回理事会

- ・日時 3月28日(月)午後3時～午後4時40分
- ・会場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議事(議案)
 - 1 平成16年度事業計画の変更について
 - 2 平成16年度収支予算の変更について
 - 3 平成17年度事業計画について
 - 4 平成17年度収支予算について
 - 5 副理事長の選任について
 - 6 次期における理事長、副理事長及び常務理事の選任について
 - 7 評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について

8 特別表彰について

評議員会

ア 第19回評議員会

- ・日 時 6月16日(水)午前10時30分～午前11時55分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事(議案)
 - 1 平成15年度事業報告について
 - 2 平成15年度決算について
 - 3 基本財産への繰り入れ及び運用について
 - 4 役員の辞任に伴う後任役員の選任について
 - 5 特別表彰について

イ 第20回評議員会

- ・日 時 3月28日(月)午前10時30分～午後11時50分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)401会議室
- ・議 事(議案)
 - 1 平成16年度事業計画の変更について
 - 2 平成16年度収支予算の変更について
 - 3 平成17年度事業計画について
 - 4 平成17年度収支予算について
 - 5 役員の辞任に伴う後任役員の選任について
 - 6 役員の任期満了に伴う改選について

(2) 尾瀬サミット2004の開催

- ・日 時 8月9日(月)～10日(火)
- ・会 場 新潟県湯之谷村(銀山平)
- ・テーマ 「尾瀬からのめぐみ」

(3) 企画運営委員会の開催

第7回企画運営委員会

- ・日 時 10月5日(火)午前10時30分～正午
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)410会議室
- ・議 事
 - 1 特別表彰について
 - 2 財団設立十周年記念事業について
 - 3 群馬県の公社・事業団見直し方針について

第8回企画運営委員会

- ・日 時 2月10日(木)午後1時30分～午後3時
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)410会議室
- ・議 事
 - 1 特別表彰について
 - 2 財団設立十周年記念事業について
 - 3 財団運営の見直しについて

(4) 尾瀬地域関係者連絡会議の開催

第3回会議

- ・日 時 5月12日(水)午前10時30分～12時10分
- ・会 場 都道府県会館(東京都千代田区平河町)4階 408会議室
- ・議 事
 - 1 平成16年度の主要事業等について
 - 2 当面の課題、懸案事項等について

第4回会議

- ・日 時 11月25日(木)午後2時～午後3時30分
- ・会 場 TSD三田ビル(東京都港区三田)4階 大会議室
- ・議 事
 - 1 平成16年度主要事業等の実施状況について
 - 2 1に関し生じた問題事項及び対応状況について
 - 3 各機関が次年度に取り組もうとしている予定事業について

9 物品の販売(特別会計)

財団事業の財源確保と自然環境保全の重要性をPRするため、尾瀬山の鼻及び尾瀬沼両ビジターセンターを中心に尾瀬に関する書籍、地図及び絵はがき等の販売を行ったほか、「わたしの尾瀬」フォトコンテスト入選作品を活用した卓上カレンダーや、群馬県作成の自然環境カレンダーなどの販売を行った。